

野党共闘の要・日本共産党を大きく

奈良・山添村 過去最高の倍 110 人、市田講演に聞き入る

2人が入党 奈良県北東部、三重県境に位置する人口 3500 人の山添村。市田忠義副委員長・参院議員を迎えた「暮らし・国政を話し合うつどい」（23 日）は椅子が次ぎつぎ追加され、過去最高の倍、110 人が参加。副村長（村長職務代理）がメッセージを寄せ、村議会議長が出席・紹介されました。

市田さんは▽都議選結果▽安倍暴走政治▽北朝鮮問題▽核兵器禁止条約▽暮らしについて約 1 時間講演。事前に寄せられた疑問—農協解体、民進党との共闘、名前を変えないのはなぜか、人口減と高齢化などに丁寧に答えました。

市田さんは「日本共産党に入って歴史を前へ」と訴え、2 人の村民が入党しました。「どんなことがあってもブレないでいることは大切だし、大変なことだと思います。18 年間、党にいてよかったです」との感想が寄せられました。奥谷和夫村議が司会をし、衆院 2 区・しもとり純一候補が決意を述べました。



「市民の力で京都 1 区からこくたさんを」党と市民のつどいに 1000 人余

「こくた恵二さんの勝利を市民の力で」と日本共産党京都 1 区後援会主催で党と市民つどいが 23 日に開かれ、1000 人以上が参加。後援会から出店した 42 のブースでマルシェ（市場）がつくられるなど大盛況。都議選で定数 3 を勝ち抜いた北区の曾根はじめ都議団長が駆けつけました（写真）。

こくたさんは、都議選勝利の意義、安倍政治の終わりの始まり、9 条改憲阻止のたたかい、核兵器禁止条約と被爆者の運動、野党共闘の前進について報告。「今の時代にこそ新たなチャレンジ精神を」「野党共闘のカナメ、日本共産党を大きく」と呼びかけました。会場で 2 人が入党しました。



こくたさん、滋賀・東近江、京都 2 区でも訴え こくた恵二衆院議員は 21 日、滋賀県東近江市（演説会）で、22 日には京都市東山区（党創立記念集会）でも訴えました。東近江の演説会では 10 月 22 日投票の甲賀、湖南、東近江各市の市議選候補が紹介、滋賀 4 区・西澤こういち、京都 2 区・ちさか拓晃両候補があいさつしました。「実際の現場からの視点で分かりやすい話だった」「潮目が変わった。今を逃してはいけないと強く感じた」（東近江）

比例・清水さん、大阪 5 区・北山さん 党躍進へ全力 「比例近畿ブロック 5 人以上勝利と必勝区・北山良三候補の勝利を」と大阪 5 区党後援会は 21 日、大阪淀川区で決起集会を開催。清水ただし衆院議員は、大阪誘致を狙うカジノを批判し、真面目な経済政策は福祉の充実だと強調。「社会保障問題で他の追随を許さない北山候補とともに勝ち抜かせて下さい」と訴えました。

奮闘
要求
実現へ



「いかに通行の妨げになっているのか、よくわかった。無電柱化は、住民の声をよく聞き進めていくことが必要です。一刻も早く事業化できるようにがんばりたい」と話しました。

住民の声聞き無電柱化を 大阪・門真で清水さん

昨年 12 月に国会で無電柱化の推進に関する法律が成立し、門真市では 2.4Km の区間で工事が始まっています。清水ただし衆院議員は、整備予定地になっている 2km 区間を視察。歩道中央部に電柱が 15 本以上あり、中には車いすで通り抜けられないようなところも。

清水議員は

総選挙勝利近畿ブロックニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 22(2017. 7. 24)